

2020年9月期第2四半期決算

2020年5月11日

 株式会社三菱総合研究所

1. 2020年9月期第2四半期決算

2. 2020年9月期業績予想

3. トピックス

2020年9月期 第2四半期のまとめ

- 中期経営計画2020に沿った戦略・改革が奏功、増収増益
- 持分法投資利益（アイネス）・特別利益（Minori）も加え、過去最高益
- 新型コロナウイルス対応が今後の課題

売上高： 482億円 前同比 +23.4億円 (+5.1%)

- シンクタンク・コンサルティングサービス（TTC）は戦略的受注により増収
- ITサービス（ITS）は金融・カード伸長で大幅増収（+21億）

経常利益： 72.3億円 前同比 +32.3億円 (+81.1%)

- TTC、ITSとも増収・利益率改善により増益
- TTC 持分法投資利益（+15億）、ITS 課題案件影響解消（+7億）も寄与

純利益： 64.6億円 前同比 +36.4億円 (+129.0%)

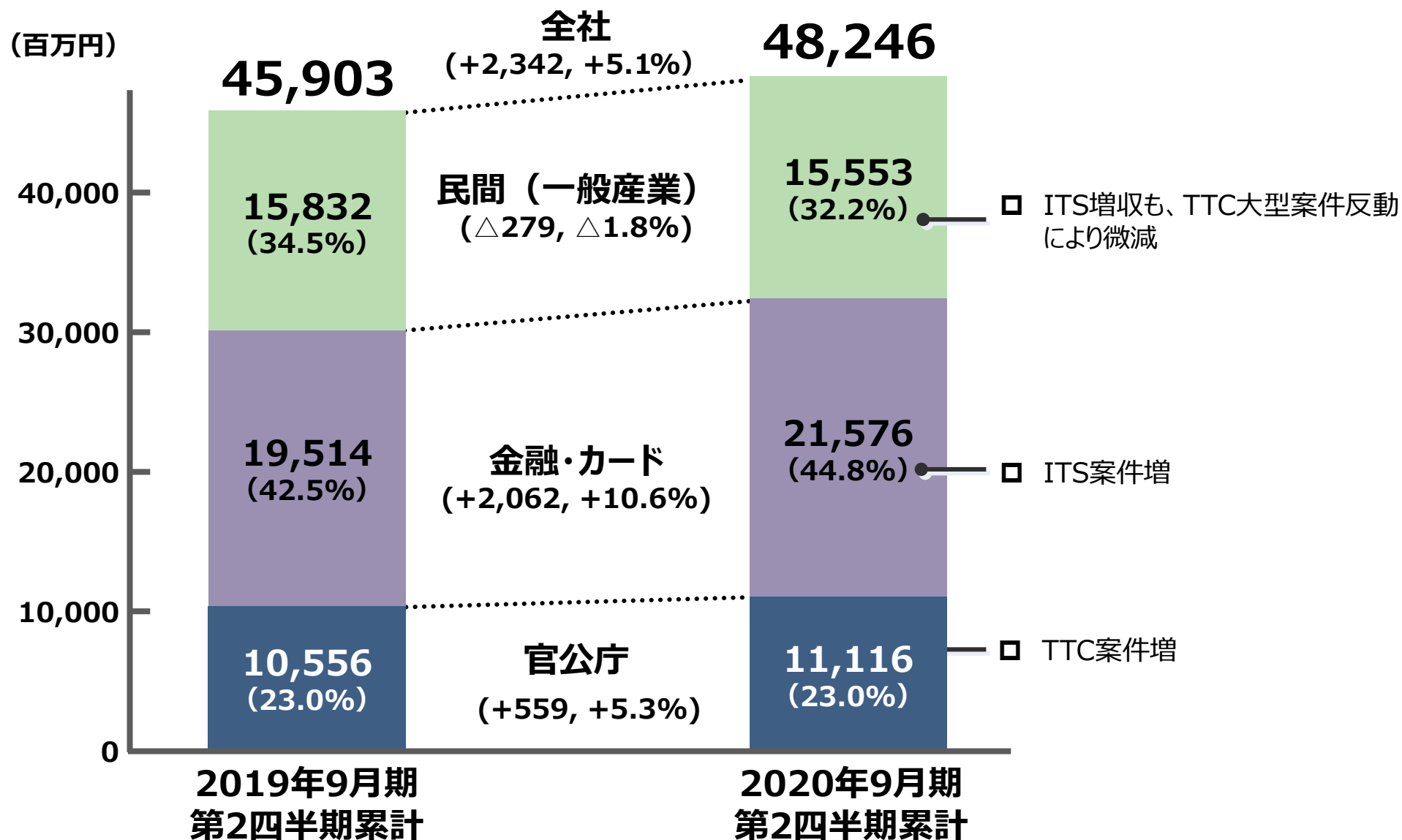
- 特別利益計上 +27億

第2四半期連結決算 <前同比>

(百万円)

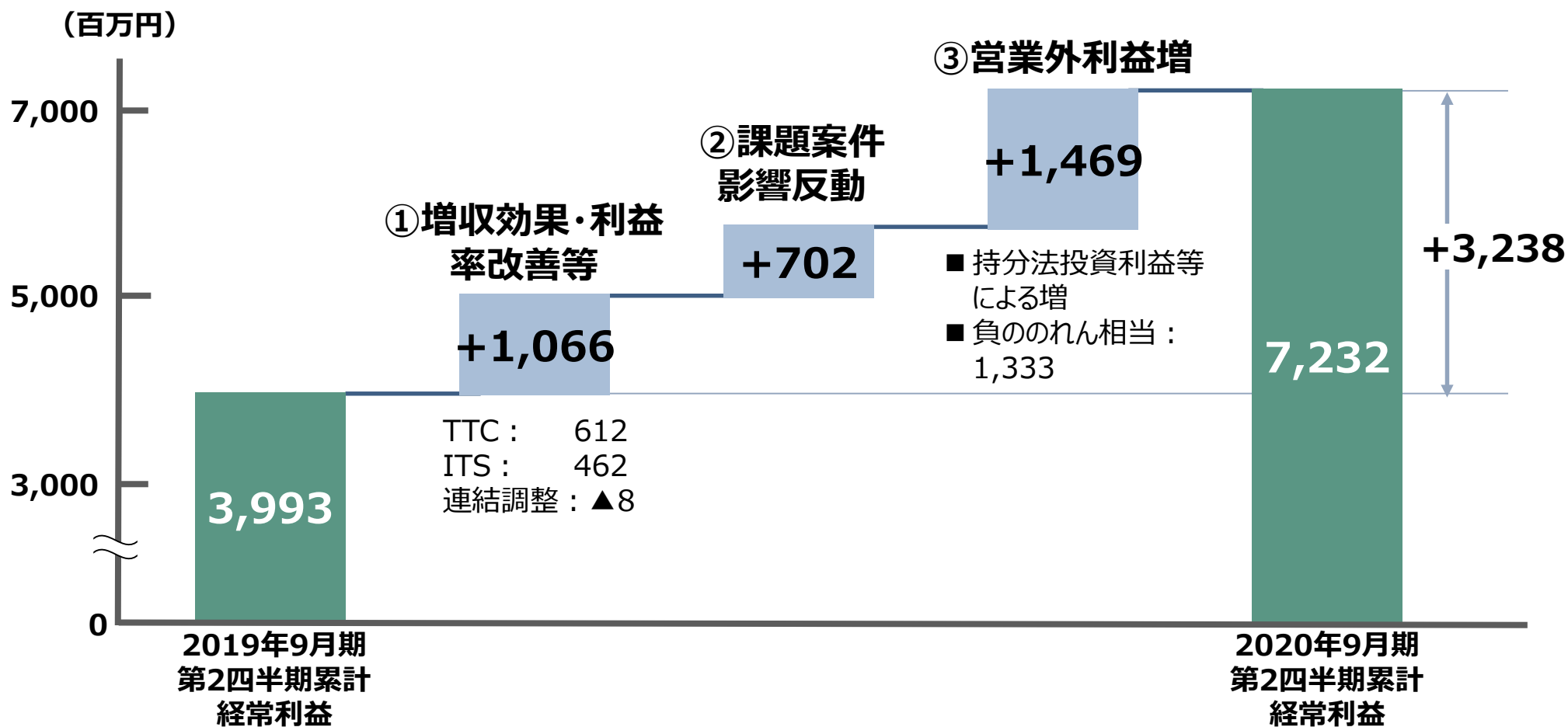
	2019年9月期 2Q累計	2020年9月期 2Q累計	前同比	
			増減額	増減率
売上高	45,903	48,246	+2,342	+5.1%
売上総利益	10,778	12,647	+1,868	+17.3%
売上総利益率	23.5%	26.2%	+2.7 P	
販売費及び一般管理費	7,045	7,145	+99	+1.4%
営業利益	3,733	5,502	+1,769	+47.4%
営業利益率	8.1%	11.4%	+3.3 P	
経常利益	3,993	7,232	+3,238	+81.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,823	6,466	+3,643	+129.0%
1株当たり四半期純利益 (円)	173.79	397.97	+224.18	

顧客業種別売上高 <前同比>



経常利益の変動要因 <前同比>

- 中計2020に沿った戦略・改革（戦略的受注、案件大型化、新事業）を推進
- ①増収効果・利益率改善、②課題案件影響の反動、③アイネス持適化 により増益



シンクタンク・コンサルティングサービス (TTC)

(百万円)

	2019年9月期 2Q累計	2020年9月期 2Q累計	前同比	
			増減額	増減率
売上高	17,768	17,963	+195	+1.1%
営業利益	2,849	3,462	+612	+21.5%
営業利益率	16.0%	19.3%	+3.3P	
経常利益	2,969	5,058	+2,088	+70.3%
受注高	16,258	20,256	+3,998	+24.6%
受注残高	23,490	28,600	+5,109	+21.8%

主なポイント

- 戦略的受注により、官公庁、金融向けコンサル案件で増収
- 利益率改善・増収効果に加え、持分法投資利益（アイネス社）等により大幅増益
- 官公庁案件受注順調に伴い、受注高・受注残高とも増加

ITサービス (ITS)

(百万円)

	2019年9月期 2Q累計	2020年9月期 2Q累計	前同比	
			増減額	増減率
売上高	28,135	30,282	+2,146	+7.6%
営業利益	871	2,036	+1,165	+133.7%
営業利益率	3.1%	6.7%	+3.6P	
経常利益	1,013	2,171	+1,158	+114.3%
受注高	28,332	31,205	+2,873	+10.1%
受注残高	36,674	41,296	+4,622	+12.6%

主なポイント

- 課題案件に目途をつけ、金融・カード分野を中心に伸長、増収・増益
- 課題案件の前期損失影響の反動に伴う増益（+7億）
- 金融・カード分野の受注順調に伴い、受注高・受注残高とも増加

1. 2020年9月期第2四半期決算

2. 2020年9月期業績予想

3. トピックス

2020年9月期 連結業績予想

前回(2020/2/5)予想から修正なし

通期業績予想は据え置き

- 上期業績は売上・利益とも計画を上回って進捗
- コロナ影響は不可避なるも、現時点での全容把握は困難
- 経済活動の再開時期が不透明、お客様との個別調整が必要

新型コロナウイルスによる業績影響（リスク）

- 遂行中業務の中断、仕様変更等に伴う売上・利益減
- 新規・仕掛案件の中止、変更、延期に伴う売上・利益減

影響を精査し、修正必要な場合は速やかに開示

2020年9月期 連結業績予想

前回（2020/2/5）予想から修正なし

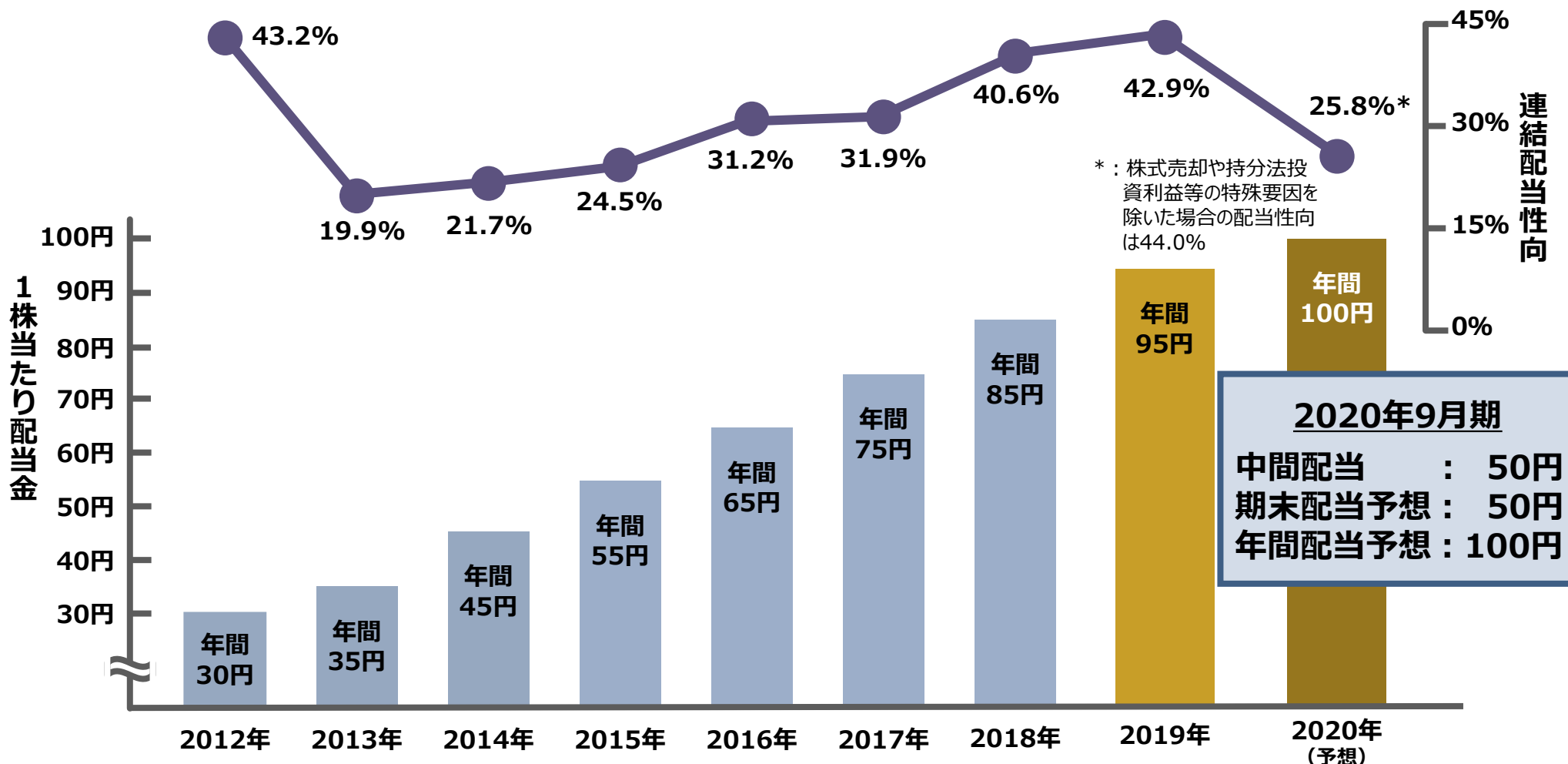
（百万円）

	19年9月期 実績	20年9月期 今回予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	90,029	94,000	+3,970	+4.4%
シンクタンク・コンサルティングサービス	34,099	36,000	+1,900	+5.6%
ITサービス	55,930	58,000	+2,069	+3.7%
営業利益	5,130	4,900	△230	△4.5%
営業利益率	5.7%	5.2%	△0.5P	
経常利益	5,718	7,000	+1,281	+22.4%
シンクタンク・コンサルティングサービス	3,351	4,600	+1,248	+37.2%
ITサービス	2,325	2,400	+74	+3.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,599	6,300	+2,700	+75.0%
1株当たり当期純利益（円）	221.58	387.65		

2020年9月期 配当予想

配当方針

継続的な安定配当を基本に、業績や財務健全性のバランス等も総合的に勘案しつつ、配当水準の引き上げに努める



1. 2020年9月期第2四半期決算

2. 2020年9月期業績予想

3. トピックス

新型コロナウイルスへの取り組み

当社グループの対応

- 2月 危機対策本部設置 : お客様・社員・家族等の安全最優先
- 3月 原則在宅勤務移行 : MRI95%・DCS60%が在宅勤務
- 在宅勤務手当・出社手当を支給、医療機関へのマスク寄贈

研究・提言の取り組み

- 特設ページ開設 ([新型コロナウイルス危機対策：分析と提言](#))
- 「緊急事態宣言・緊急経済対策を受けた日本経済見通し」発表
- 「感染状況分析・収束プロセス提言」、「ポストコロナの新たな社会・産業・働き方・地域設計」等の研究開始、特設ページにて公開

トピックス

【MRI】ブロックチェーン技術を用いたデジタル乗車券の実証実験開始（1/29リリース）

- 近鉄グループホールディングス、近畿日本鉄道、オムロンソーシアルソリューションズ、chaintopeと協働、「近鉄日本橋」・「近鉄八尾」駅において、デジタル乗車券を発行

www.mri.co.jp/news/press/20200129.html

【MRI】HACCPナビ提供開始（1/28リリース）

- 食品の安全性を確保する衛生管理手法であるHACCP（ハサップ）制度化に対応する食品関連事業者に向けた支援サービスを開始

www.mri.co.jp/news/press/20200128.html

【DCS】従量課金型マルチクラウドストレージサービス「Dibertas（ディバタス）」開始（2/12リリース）

- 複数のクラウドサービスやオンプレミス環境からデータを横断的に利用可能
- パフォーマンスと信頼性、低価格を実現

www.dcs.co.jp/history/news/2020/200212.html

将来の見通しに関する注意事項

この資料は、将来の見通しに関する記述を含んでいます。予想値を含めこれら将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいた当社の判断によるものです。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、予測困難なリスクや不確実性を内包するものです。したがって、実際の業績等は、これら種々の要因によって見通しと異なる結果となることがあります。

当社は、将来の事象や新たな情報等を反映して、将来の見通しに関する記述を更新したり改訂したりする義務を負いません。



株式会社三菱総合研究所

経営企画部 IR室

TEL	: 03-6705-6001
FAX	: 03-5157-2167
E-mail	: ir-info@ml.mri.co.jp
URL	: www.mri.co.jp